

わたしのまちのスマートモビリティ2030

学生の参加も大歓迎！
ベンチャー企業や
大学生の発表も！



日時: 2019年6月27日(木)

参加無料

13:00-16:15 (開場12:45-)

会場: 京都大学 時計台百周年記念館2階 国際交流ホール

大人、子ども、高齢者、障害者、外国人など様々な人にとって魅力的で、環境にやさしく、持続可能なわたしたちのまちの未来の交通とは？

行政、研究者、企業、金融機関、学生、市民が集い、地域の抱える課題、課題を解決するための技術や取り組みを紹介しあい、地域視点で未来の交通や移動について考えます。

第1部

インプットトーク

地域の課題、次世代モビリティ技術、社会課題解決を支える仕組みなど、行政、研究者、企業、金融機関などからのピッチトーク

第2部

パネルディスカッション

まちの交通をSDGsの視点から考える

ーわたしのまちのスマートモビリティ(持続可能な交通/移動)を作るために私たちにできることー

詳細・参加申込はこちら！



<https://www.jst.go.jp/sdgs/events/20190627.html>

定員: 80名 (事前申込・先着順)

申込締切: 2019年6月26日12:00まで ※延長しました！

※定員に達した場合、締切日前に申込受付を終了しますのでご注意ください。
空席がある場合に限り、当日会場での受付対応をいたします。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
世界を良くするための17の目標



現在、未来の交通や移動を支えるかもしれないと言われる様々な技術が開発されています。

しかし、そのような技術だけでは全ての交通や移動の問題が解決する訳ではありません。地域の社会課題、交通／移動にかかわる技術開発の現状と導入に向けた課題に触れ、「使う側」と「創る側」の視点を共有することで、私たち一人ひとりが新しい科学技術の便益をどう享受し、どう支え、どう活用しながら「わたしのまちのスマートモビリティ」（持続可能な交通／移動）を共にデザインし、創造していくか、そしてそのために「私たち一人ひとりにできることは何か」を考える機会にしたいと思います。

総司会 科学技術振興機構 平川 祥子

第1部 13:00- インプットトーク

地域の社会課題やまちづくり政策、課題解決に貢献しうる技術シーズや取り組み、課題解決を応援する仕組みについてのピッチトーク

- 京都府 副知事 山下晃正(ビデオメッセージ)
文化学術研究都市推進課 未来都市創造担当課長 島田和幸
- 京都市 都市計画局 歩くまち京都推進室 モビリティ・イノベーション創出課長 山田 真
- 池田市 総合政策部 政策企画課 主幹 野勢 桃子
- 京都大学 大学院工学研究科 都市社会工学専攻 准教授 シュマッカー・ヤンディヤク
- 大阪大学 大学院工学研究科 地球総合工学専攻 博士後期課程3年 葉 健人
- 株式会社Momo 代表取締役 大津 真人
- 名古屋大学 未来社会創造機構 知能化・システム統合研究部門 特任教授 手嶋 茂晴
- 京阪バス株式会社 ICT推進部 兼 交通企画室 主任 大久保 園明
- 一般社団法人システム科学研究所 調査研究部 部長 東 徹
- 株式会社テムザック 中央研究所 所長 清水 昌樹
- scheme verge株式会社 Regional Coordination Director 須田 英太郎
- 滋賀銀行 CSR室 調査役 山本 卓也
- JICA関西 市民参加協力課長／関西SDGsプラットフォーム事務局 加藤 健
- プラスソーシャルインベストメント株式会社 営業部 増田 翔太
- 科学技術振興機構(JST) 経営企画部 持続可能な社会推進室 主査 平川 祥子

第2部 14:40- パネルディスカッション

導入トーク

「SDGsの視点から考えるとは？」

JST 経営企画部 持続可能な社会推進室 調査役 山田 浩貴

ショートトーク

「自動運転車による日本の通勤改革」

同志社大学 政策学部 4回 和田 葵、小崎 薫

ショートトーク

「山間地域の交通における不便性改善のための取り組み(仮)」

京都大学 農学部 4回 山口 真広

パネルディスカッション

「まちの移動をSDGsの視点から考える

ーわたしのまちのスマートモビリティ(持続可能な交通／移動)を作るために私たちが
できることー」

パネリスト： シュマッカー・ヤンディヤク、手嶋 茂晴、大久保 園明、東 徹、須田 英太郎

ファシリテーター： JST「科学と社会」推進部 部長 荒川 敦史

閉会挨拶 JST 理事 真先 正人

Sli.doで発言してみよう！

ワークショップでは発表者と参加者、会場全体のインタラク션을促進するために、Sli.doを活用します！